

サケ稚魚放流情報 No.2



平成 31 年 3 月 28 日
岩手県水産技術センター
漁業資源部
TEL: 0193-26-7915
FAX: 0193-26-7920

湾内の表面水温は平年並～2℃程度低めとなっています。
動物プランクトン沈殿量は、平年並～多い状況にあり、増加時期にさしかかっていると考えられます。
過密飼育を行わないよう注意しながら飼育管理を行い、放流サイズに達した稚魚の放流を行ってください。

1 表面水温 (°C)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/18、19)	6.6	4.7	3.9	4.1	6.9
平年*	6.2	6.2	5.4	6.0	6.9
前年同期	6.0	6.2	6.3	7.8	9.2

各湾の表面水温は、平年と比較して、宮古湾と大船渡湾で平年並、山田湾、唐丹湾、越喜来湾で2℃低く、前年同期と比較して、宮古湾で1℃高いほか、各湾とも2～4℃低くなっており、全体として低めに推移しています。

2 動物プランクトン沈殿量 (ノルパックネット鉛直 20m 曳き、ml/m³)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/18、19)	0.91	1.88	1.23	0.46	4.59
平年*	0.82	0.51	0.41	0.52	0.76
前年同期	0.12	0.03	0.24	0.53	0.65

動物プランクトン沈殿量は、越喜来湾が平年および前年並であるほか、各湾とも平年及び前年を上回っており、増加する時期にさしかかっていると考えられます。

3 山田湾における水温・塩分・動物プランクトン連続モニタリング結果**

- (1) 氷場漁場において、音響機器（プロファイラー）で連続観測を実施しています。
- (2) 平成 31 年 3 月 28 日現在、氷場漁場は水温 6.0℃、塩分 33.45 となっています（図 2）。
- (3) 動物プランクトン密度は、1mm 以下の小型のものを中心に、過去 5 年間と比べてきわめて低くなっています（図 3、今年度の縦軸は 1/10 スケール）。

4 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ (<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

*平年は過去 14～16 年間の同期の平均値。

**平成 30 年度まで先端技術展開事業「天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・実証研究委託事業」、平成 31 年度は「さけ・ますふ化放流抜本対策事業」による研究成果（モデル海域：山田湾）

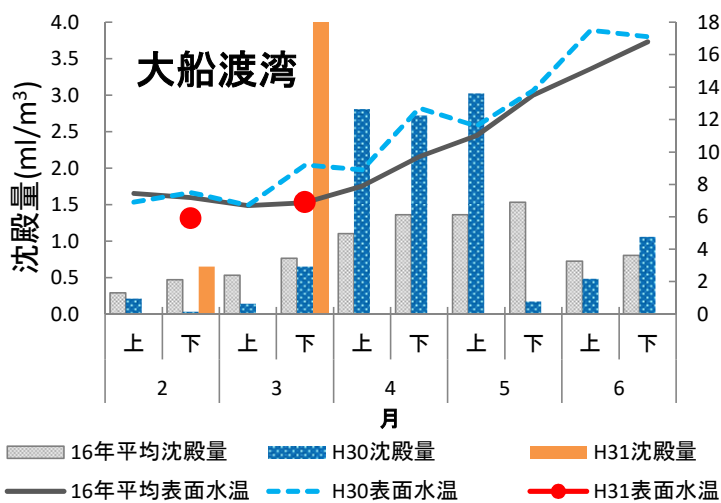
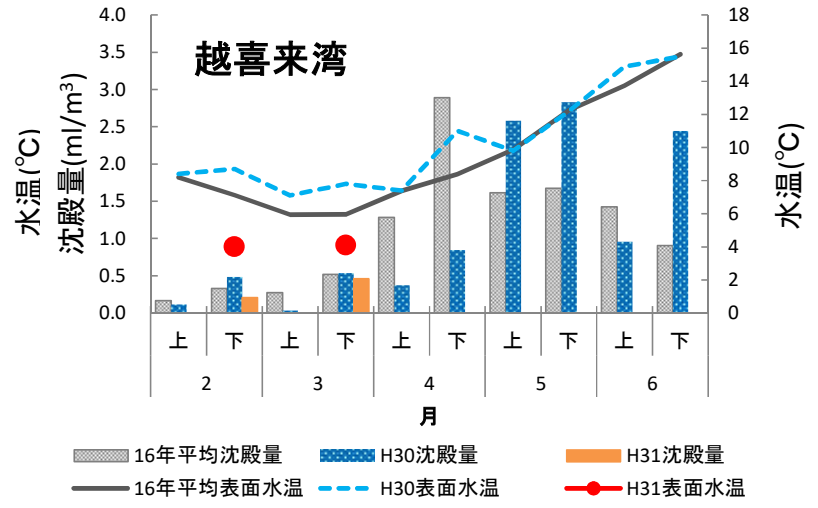
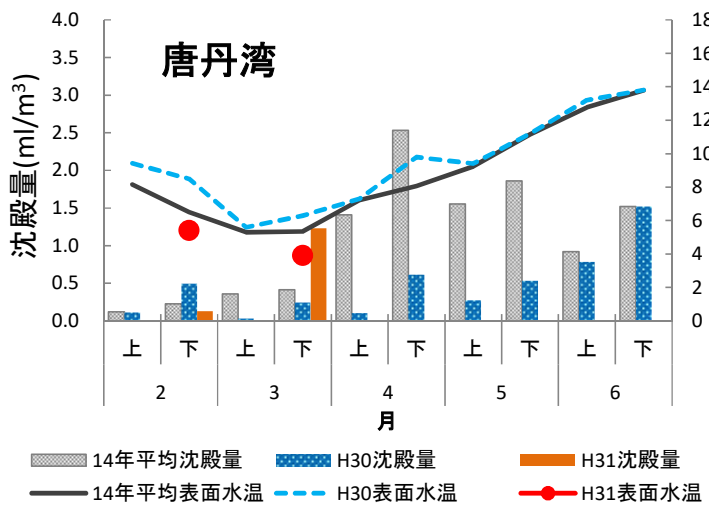
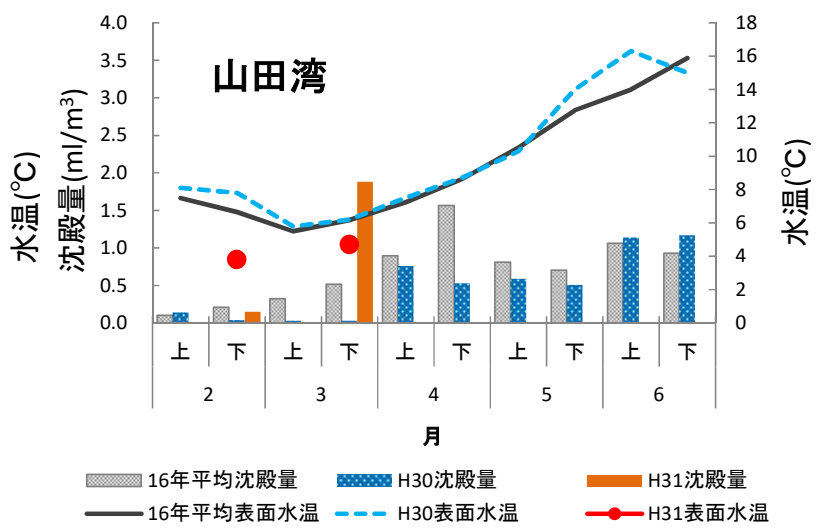
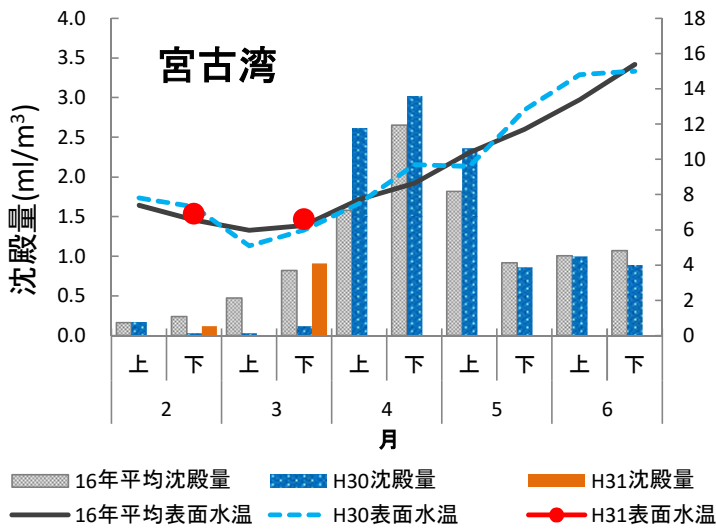


図1 5湾における動物プランクトン沈殿量，表面水温の季節変化

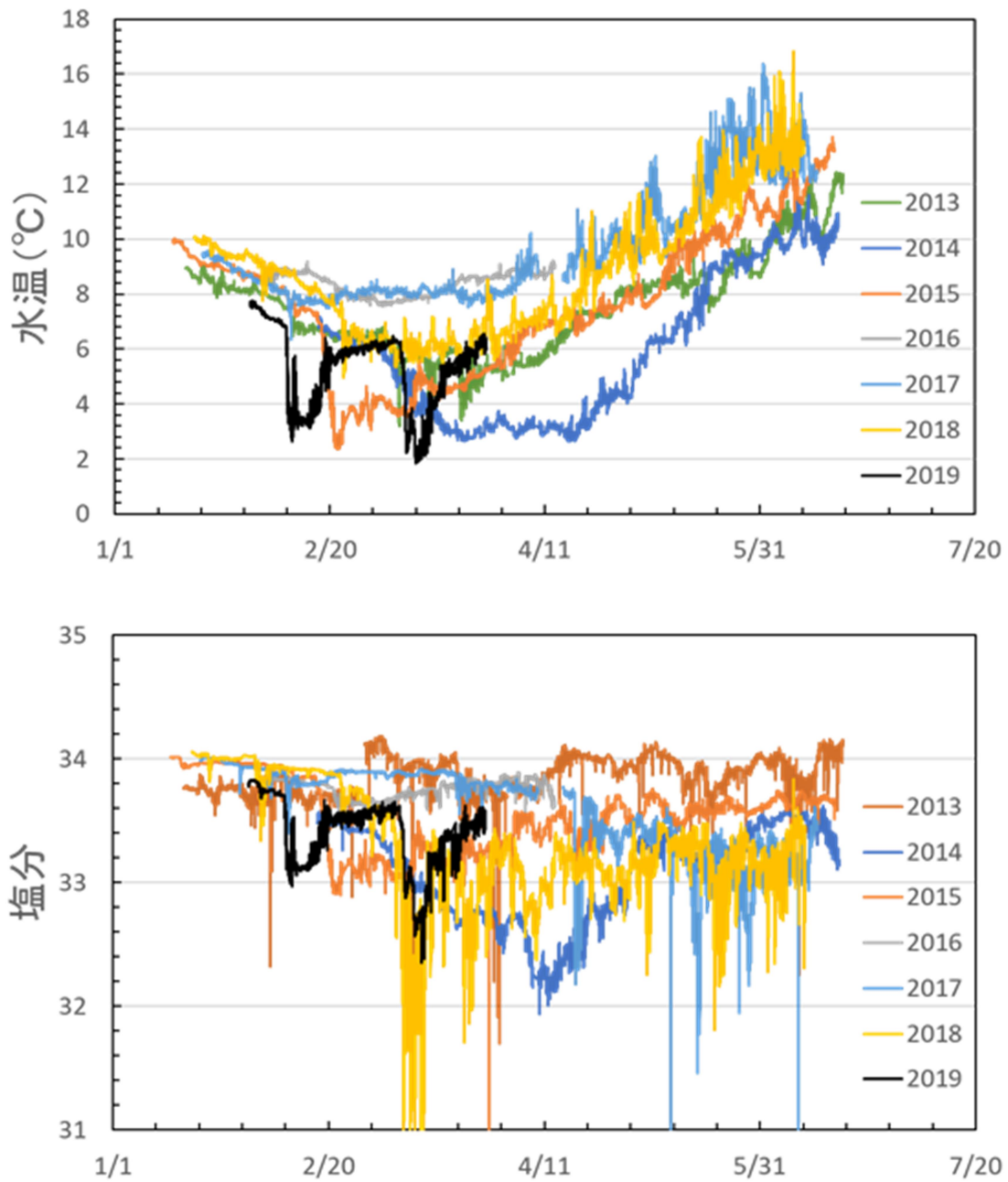


図2 山田湾（氷場漁場、10m深）における水温・塩分の日変化（平成31年3月28日現在）

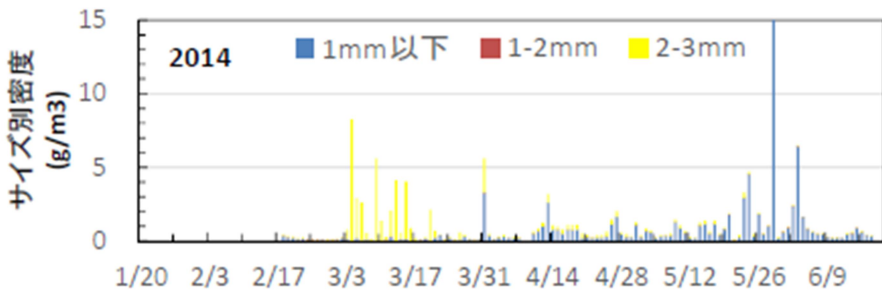
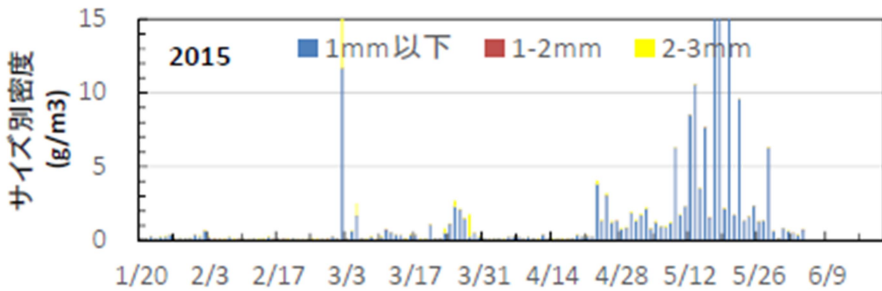
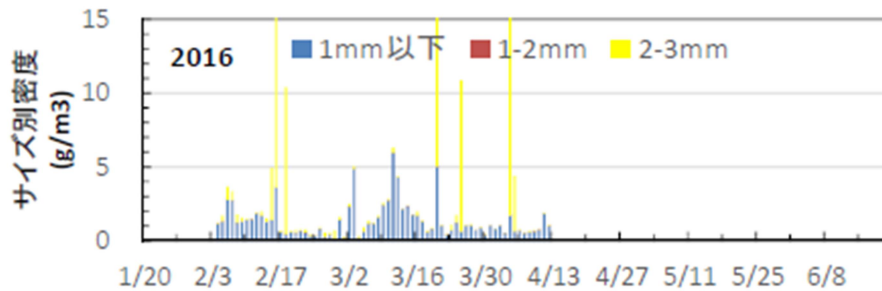
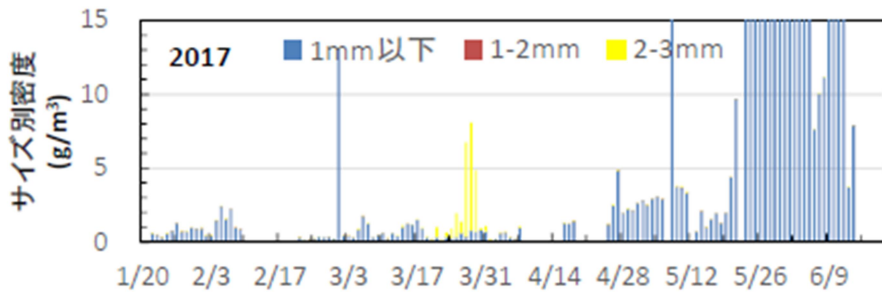
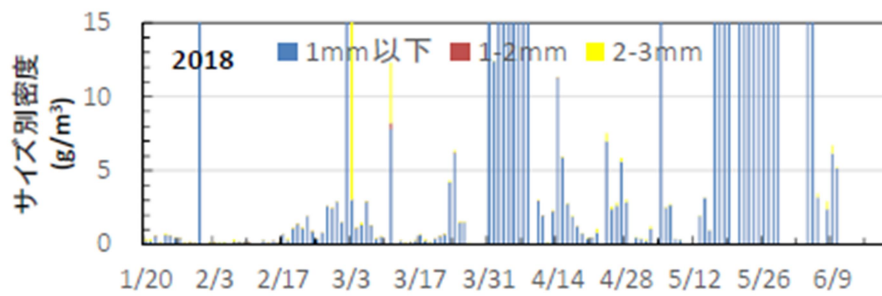
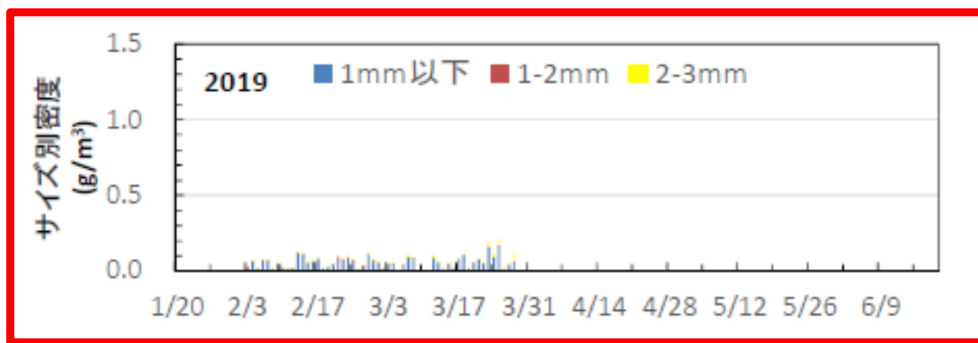


図3 山田湾（氷場漁場、10m深）におけるプランクトン密度の日変化（平成31年3月28日現在）